第三十八　ばん

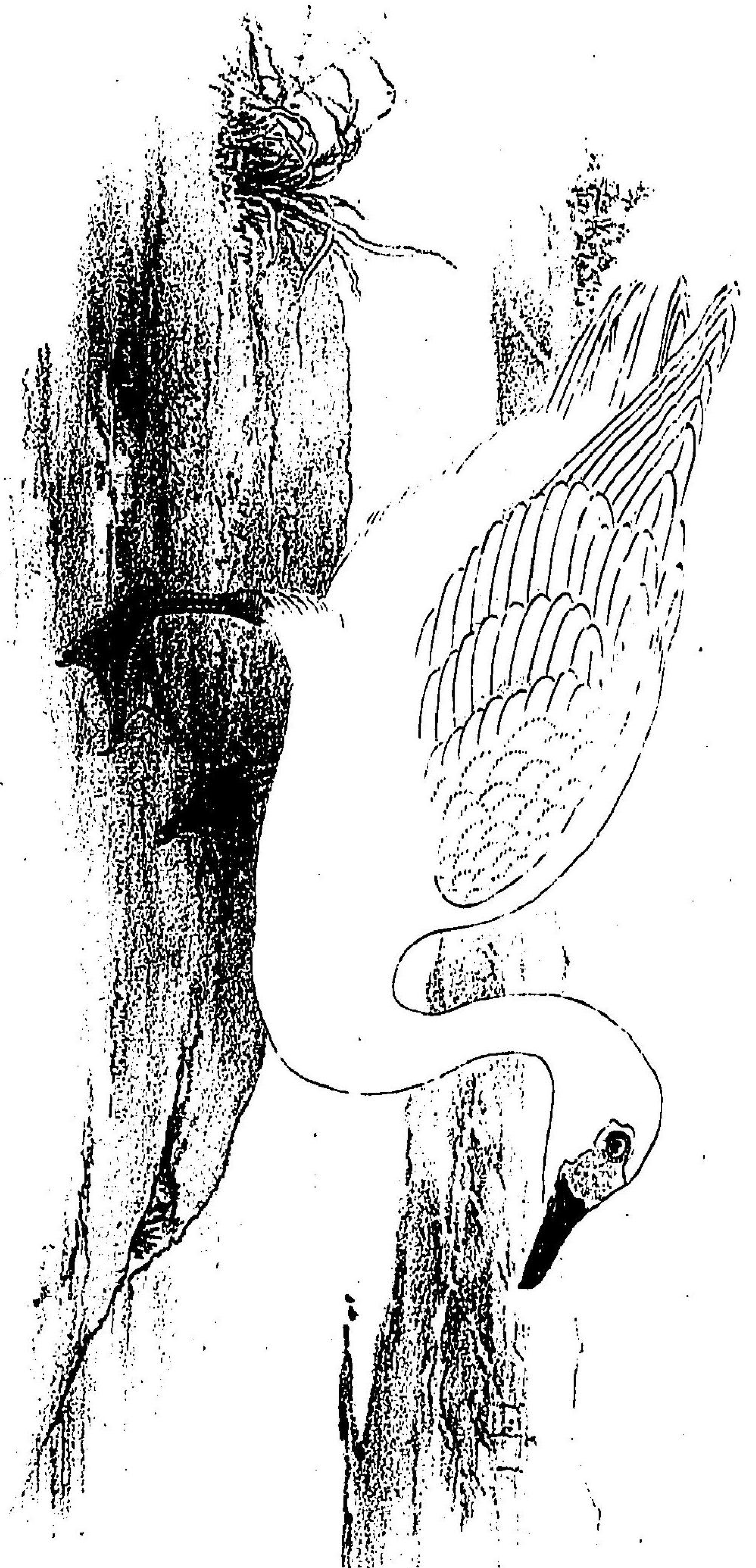
No. 38 Ban.

學名
Gallinula chloropus, L.

英名
Water-hen.

佛名
La poule d' eau.

ばんハ渉禽族ニシテ其体ハ鳩ヨリモ稍大ナリ嘴ハ側扁シテ暗綠色ヲ呈シ其根基ハ廣ガリテ殆ド額部ニマデ及ボシ其部分ハ赤色ナリ尾ハ短クシテ圓形ヲ爲シ趾ハ長大ニシテ小瓣蹼ヲ具ヘ脚ハ綠色ニシテ羽毛ハ殆ド全身黒褐色ナリ常ニ泉澤、河川等ノ洲渚ニ棲息シ巢ヲ蘆葦ノ間ニ營ミテ晝間ハ其中ニ潜伏シ夜陰ニ至リ出デ昆蟲若クハ爬蟲ヲ啄食ス飛翔スルコト甚ダ拙ナレドモ游泳潜行ニ頗ル長ジ又迅速ニ歩走スルコトヲ得レドモ陸上ヨリモ多ク水中ニ



第卅九圖　くゞひ　八分一

居ル処ヲ見ルニ肉味ハ稍佳ナリばんノ飼養法ハあひるト相同シ雛ヨリ飼養スルトキハ能ク馴ル[illegible]ナリ此鳥ハ北半球ノ古世界ニ蕃殖セザル處ナシ而シテ本邦ニ於ケル蕃殖期ハ大凡五六月ノ頃ナリ[illegible]

[illegible]

第三十九　くゞひ

一名[illegible]又はくてう

No. 39, Kugui,
Hakuchō.

學名
Cygnus bewicki, Yarr.

英名
Bewick's swan.

佛名
Le cygne de bewick.

くゞひハ扁嘴族ノ候鳥ニシテ体ノ大サ三尺七八寸許アリ頸長ク嘴根厚大ニシテ其高サ幅ニ超エ嘴端漸ク匾濶トナリテ嘴縁ニハ歯状物ヲ有ス全身ノ羽毛雪白ニシテ嘴根ハ黄赤色ヲ呈シ其前部ハ黒色ヲ呈ス脚ハ黒色ナリ時トシテ羽毛ノ灰白色ナルモノヲ見ルコトアリ是其雛鳥トス本邦ニテハ關東及ビ北國ニ於テ尤モ多ク目撃ス冬月來リテ池沼湖澤等ニ棲息スレドモ春時ニ至レバ去リテ北徙ス然レドモ北海道千島等ニテハ夏時ニ抱卵スト云フ性頗ル強剛

第三十九　くゞひ

又はくてう

No. 39. Kugui,
Hakuchō.

學名
Cygnus bewicki, Yarr.

英名
Bewick's swan.

佛名
Le cygne de bewick.

くゞひハ扁嘴族ノ候鳥ニシテ体ノ大サ三尺七八寸許アリ頸長ク嘴根厚大ニシテ其高サ幅ニ超エ嘴端漸ク匾濶トナリテ嘴縁ニハ齒狀物ヲ有ス全身ノ羽毛雪白ニシテ嘴根ハ黄赤色ヲ呈シ其前部ハ黒色ヲ呈ス脚ハ黒色ナリ時トシテ羽毛ノ灰白色ナルモノヲ見ルコトアリ是其雛鳥トス本邦ニテハ關東及ビ北國ニ於テ尤モ多ク目撃ス冬月來リテ池沼湖澤等ニ棲息スレドモ春時ニ至レバ去リテ北徙ス然レドモ北海道千島等ニテハ夏時ニ抱卵ストモ云フ性頗ル強剛

第四十圖　ひえどり　四分一

ニシテ勇氣アリ其嘴及ビ翼ハ則チ護身器ニシテ之ヲ以テ猛禽ト能ク格鬪シ得ベク又狗ニ對シテモ能ク挑戰シ得ルトゾ其羽毛ハ以テ鷲絨ヲ織ルベク其翼翮ハ以テ洋筆ヲ製スベシ其肉其卵以テ食用ニ供スベシ此鳥ハ常ニ水草及ビ蟲類ヲ食ス陸上ヲ歩走スルコトハ頗ル拙ナレドモ水中ヲ游泳スルニ至リテハ巧ミナリ然レドモ潜行スルコトハ能ハス又翺翔スルコトモ甚ダ稀ナレドモ其飛ブトキハ高ク天ニ沖リ又其鳴聲ヲ發スルコト極メテ大ナリ此鳥ノ蕃殖區域ハ歐羅巴洲ヨリ亞細亞洲ニ亘リ就中西比利亞、堪察加等ニ於テ多ク蕃殖スルモノヽ如シ

第四十　ひよどり

No. 40　Hiyodori.

學名
Hypripetis amaurotis, P.

英名
Brown eared bulbul.

佛名
La grive.

ひよどりハ燕雀族ニシテもずヨリモ大ナリ嘴ハ黒色ニシテ長ク尾モ亦長シ背部ハ灰色ニシテ黒色ノ斑文アリ腹ハ稍白色部ニ富ミ脚ハ黒色ナリ頭上ニ灰白毛アリ肉味ハ頗ル美ナリ本邦到處此鳥ヲ見ザルコトナク晩秋ヨリ翌年ノ春季ニ渉リテハ人家ノ庭際ニ飛ビ來リテ樹實及ビ果類ヲ啄ム常ニ飛鳴ス其聲頗ル喧（カマビス）シ巣ヲ樹林ノ間ニ營ミ四五月ノ頃抱卵ス其雛ヲ取リテ飼鳥トナストキハ能ク馴レ且諸鳥ノ擬鳴（ギメイ）ヲ爲スガ故ニ頗ル玩養スルニ足ル

第四十一圖　つぐみ　二分一

第四十一 つぐみ

又ちやうま

No. 41 Tsugumi,
Chōma.

學名
Merula fuscata, Pall.

英名
Dusky onzel.

佛名
Le merle brun.

つぐみハ燕雀族ノ候鳥ニシテ關東ノ方言ニテハちやうまト云フ其体ハひよどりト畧ボ同大ナリ嘴ハ端直ニシテ其尖端微シク彎曲シ側方ヨリ壓匾ス羽色ハ灰褐茶褐等ヲ雜ヘ胸部ハ黑色腹部ハ頰白色ナリ極メテ普通ノ鳥ナルガ故ニ詳述ヲ要セザルベシ但老幼、雌雄ニ由リテ少シク羽色ヲ異ニス肉味ハ甚ダ美ナリ其鳴聲愛スベクシテ飼鳥トナスニ宜シ此鳥ハ東部西比利亞ノ高山ニテ蕃殖シ冬間ハ本邦及ビ支那ノ南部ニ徙ルヲ常トス故ニ十月ノ末ヨリ翌年四

月ノ頃マデハ本邦到處ニ於テ之ヲ見ザルハナシ其性好ンデ螻蛄ヲ食フ其他昆蟲蠕蟲果實ヲ啄ム

鷺

鷺ハ渉禽族ノ鳥ナリ嘴ハ纖長端直ニシテ側方ヨリ壓扁シ其端末尖リ上嘴ニハ二條ノ縱溝ヲ具ヘテ其中ニ鼻孔ヲ開ケリ頸及ビ脚ハ共ニ細長ニシテ淺水ヲ渉リ魚介若クハ蟲類ヲ啄食ス時々佇立シテ水中ヲ窺覘スルガ如キ狀ヲ爲スハ是其餌ヲ求ムルガ爲メナリ此類ノ鳥ニハ十餘種アリ今其中ニ就テ五種ヲ示ス

第四十二圖　しらさぎ　四分一

第四十二 しらさぎ

又 こさぎ

いつぱい

No. 42 Shira-sagi,
Ko-sagi, Ippai.

學名
Ardea gazetta, L.

英名
Little egret.

佛名
La petite aigrette.

此種ハ全身純白ニシテ宛モ雪ノ如シ是其名ヲ得タル所以ナリ其体ハ凡ソ一尺五寸許ニシテちうさぎヨリハ小ナリ嘴ハ夏冬共ニ黑シ趾ハ暗黃色ナルモ走脚ハ黑色ナリ夏ハ頭部ニ白色ノ羽冠ヲ生ズ背部ノ簑毛ハ尾ヨリ短シ其蕃殖區域ハ歐羅巴洲ノ南部、波斯、印度、緬甸、支那及ビ本邦ニ跨リ本邦ニテハ本土、四國、九州共ニ四季ヲ通シテ棲息ス其蕃殖期ハ凡ソ六月ノ頃ナリ

第四十三圖　あをさぎ　四分一

第四十三 あをさぎ
又みそさぎ

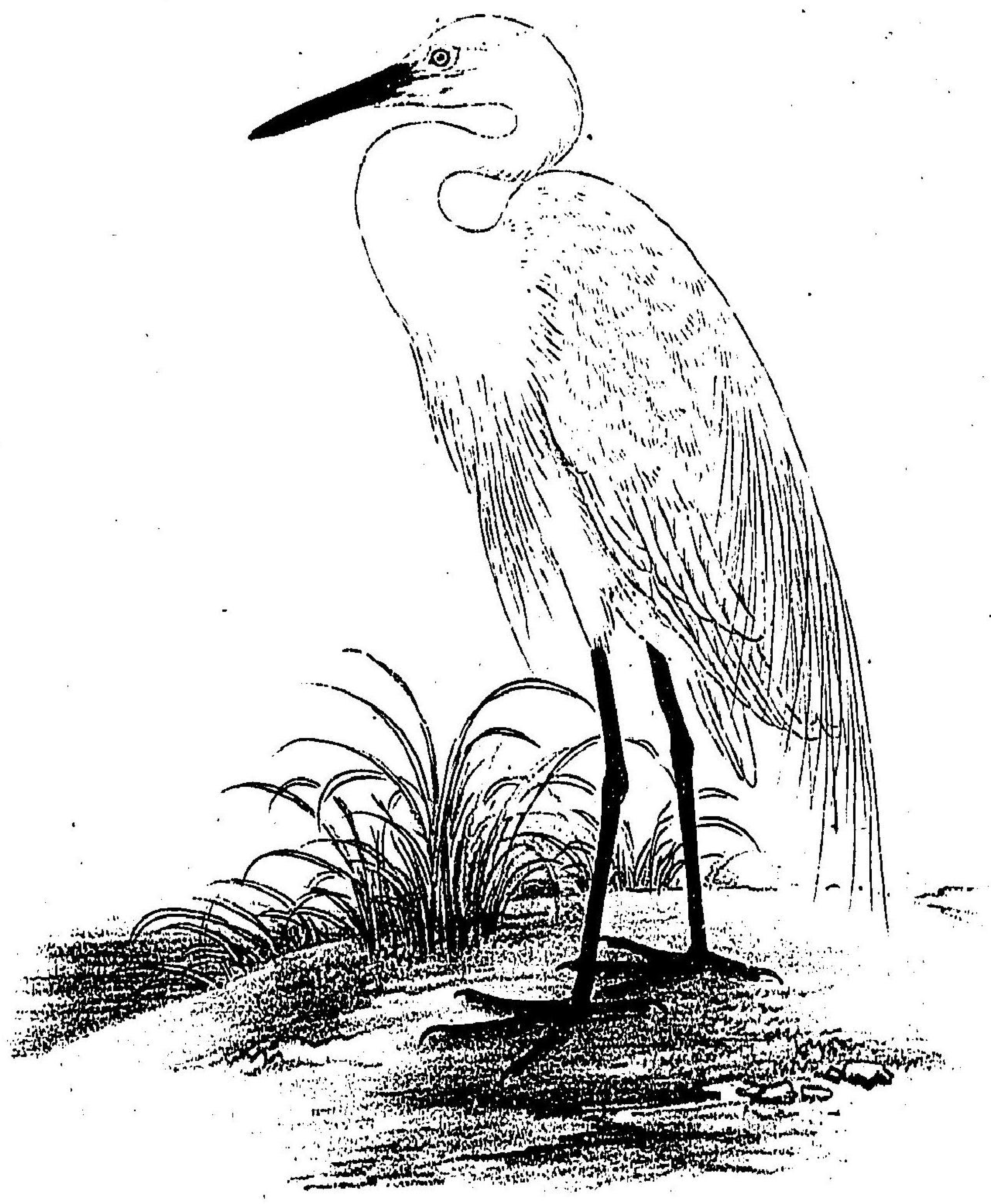
No. 43 Ao-sagi,
Miso-sagi.

學名
Ardea cinerea, L.

英名
Heron.

佛名
Le héron cendré.

此種ハ其体ノ大サ三尺二寸許アリテ背部ハ蒼灰色ヲ呈ス是あを(蒼)さぎノ稱アル所以ナリ嘴ハ端直細長ニシテ黄色脚ハ赤黒色ナリ頭部及ビ頸部ハ白色ナレドモ頭上兩側並ニ後頭ハ黒色ニシテ頂上ニ黒ク長キ羽冠アリ而シテ頸ノ前面ニハ縦ニ黒條ヲ存ス又翼ハ黒色ニシテ腹部ハ白色ナリ其頭上ノ灰色ニシテ翼モ亦灰黒色ナルハ幼鳥トス常ニ魚類、昆蟲、蛙等ヲ食ス其肉味ハ極メテ美ナリ此鳥ハ歐羅巴洲ヨリ西比利亞ノ南部、支那及ビ印度ニ棲息ス而シテ本邦



第四十四圖　中さぎ　五分一

陸ハ夏季來リテ蕃殖シ冬季ハ大陸ニ向テ歸リ去ルモ[illegible]

如シ[illegible]

[illegible]

第四十四　ちうさぎ
又しまめぐり

No. 44　Chū-sagi,
Shimameguri.

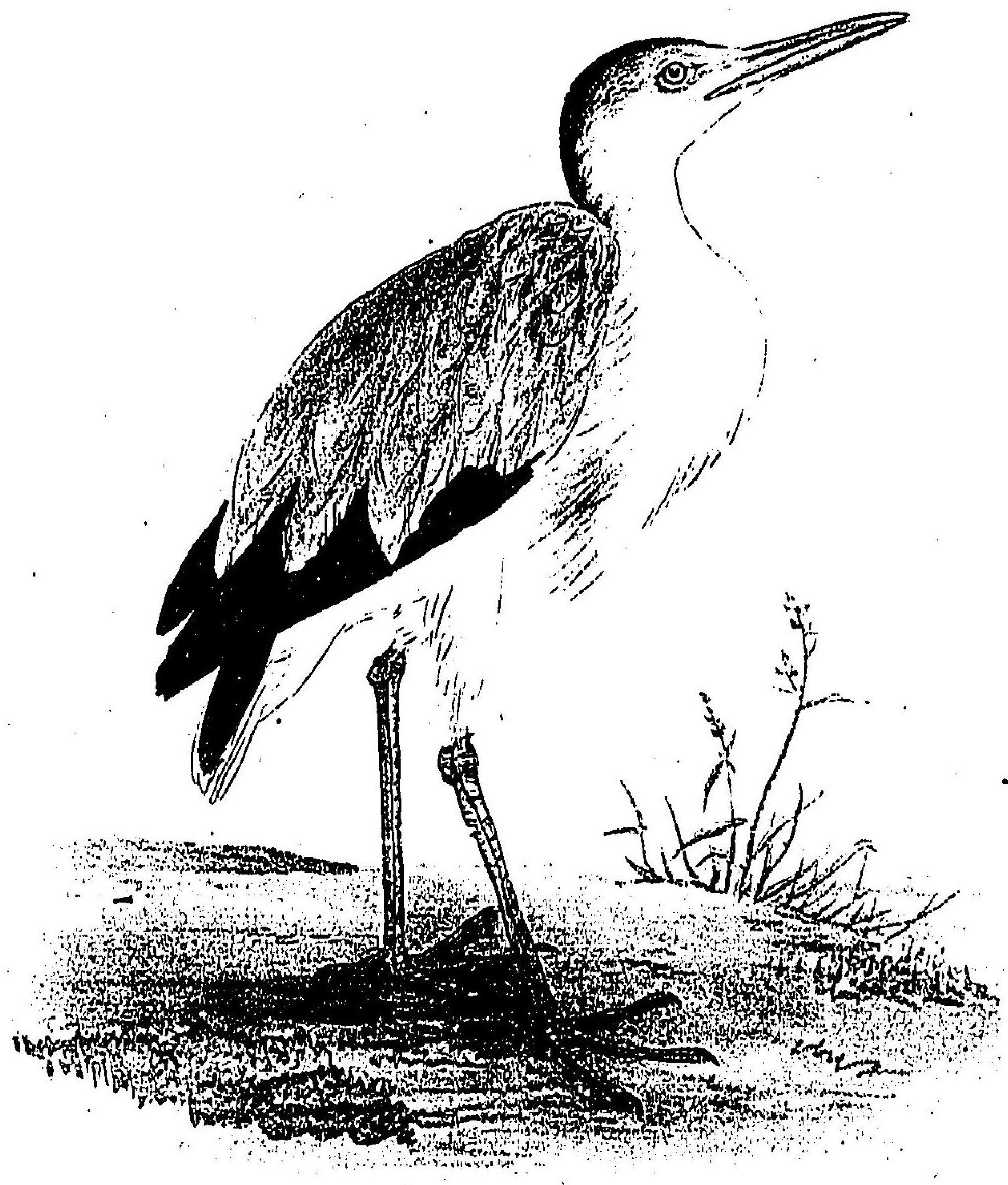
學名
Ardea intermedia, Wagl.

英名
Plumed egret.

佛名
L' aigrette intermédiane.

此種モ亦總身雪白ニシテしらさぎヨリハ大ナリ嘴ハ冬ハ黄色ナレドモ夏ニ至レバ其根部ノミ黄色ニシテ餘ハ黒色ニ變ジ又夏ハ背部及ビ胸部ニ長キ簑毛ヲ生ズ而シテ背部ノ簑毛ハ尾ヨリモ長キコト五寸許ナリ此鳥ハ亞非利加洲印度、支那、馬來諸島及ビ豪太刺利等ニ産ス本邦ニテハ夏ハ到處之ヲ見レドモ冬ハ其留マルモノアルヤ否ヤ未詳ナラズ

第四十五圖 よしごゐ 二分一



第四十五　よしごゐ

又ぼんのうさぎ

此種ハ鷺中ノ最小ナルモノニシテ其体ハ一尺許ニ過ギズ脛ハ關節ニ至ルマデ羽毛ヲ以テ被ハル頭上ハ灰黑色頭ノ兩側及ビ後頸ハ栗色体ノ下部ハ淡茶色ニシテ胸ノ邊ニハ黑色ヲ呈シ背部ハ暗濁ナル茶色ナリ又雨覆ハ茶色ニシテ尾ハ翼ノ大羽ト共ニ灰黑色ナリ其頭上ヨリ背部ニ亘リテハ茶色ニシテ黑茶ノ廣キ斑文アリ又下部ノ黃茶色ノ濃クシテ黑茶ノ狹キ縱線アルハ幼鳥トス元來熱帶地方ノ鳥ニシテ印度、馬來諸嶋、支那ノ南部等ニ多ク棲息シ本邦ニハ夏

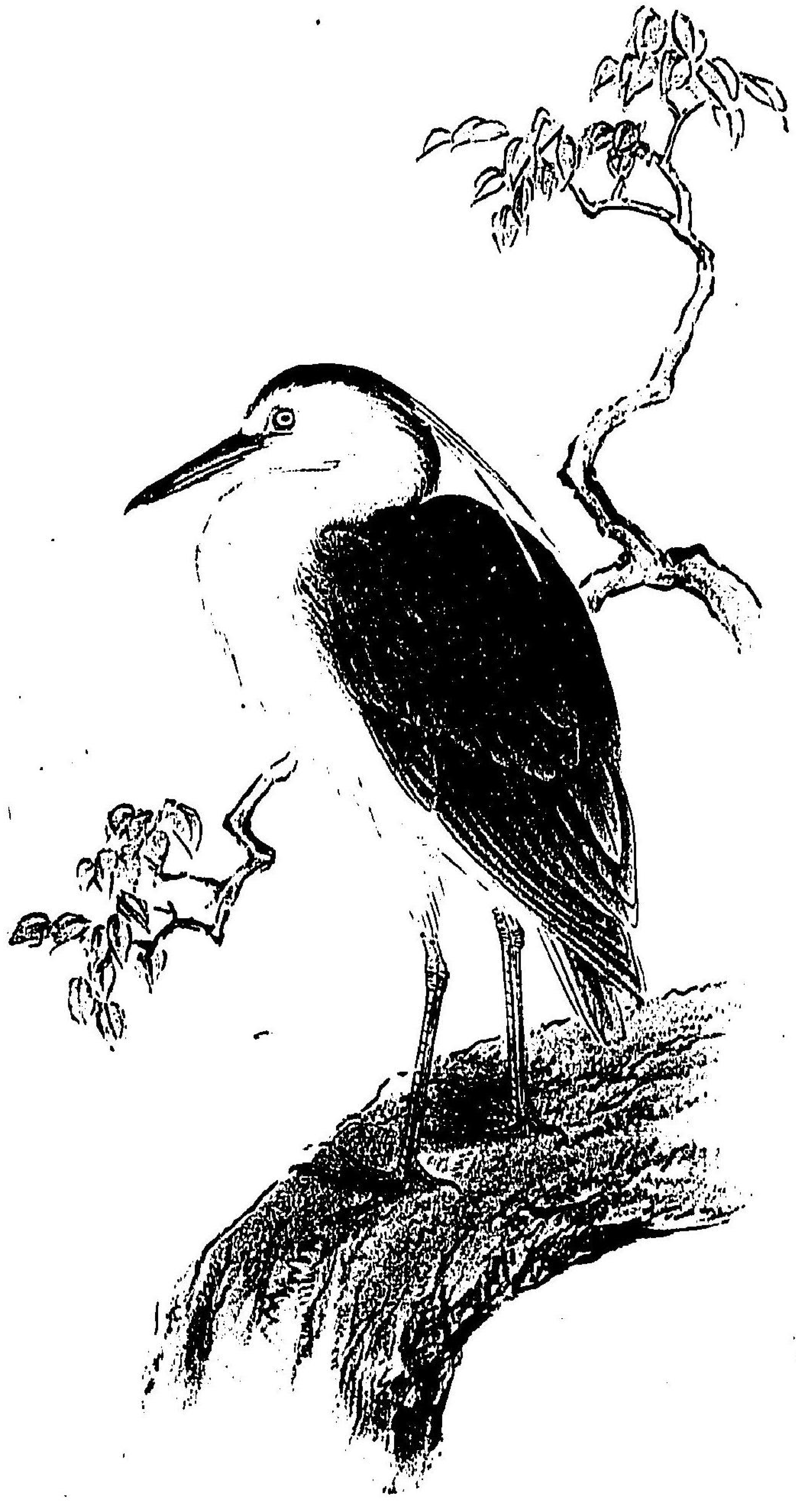
No. 45 Yoshigoi,
Bonnō-sagi.

學名
Ardetta sinensis.

英名
Oriental little bittern.

佛名
Le petit butor.

季ニ來リテ蕃殖ス



第四十六圖　ごゐさぎ　五分一

第四十六　ごゐさぎ

又せぐろごゐ、ほしごゐ、なべかぶり

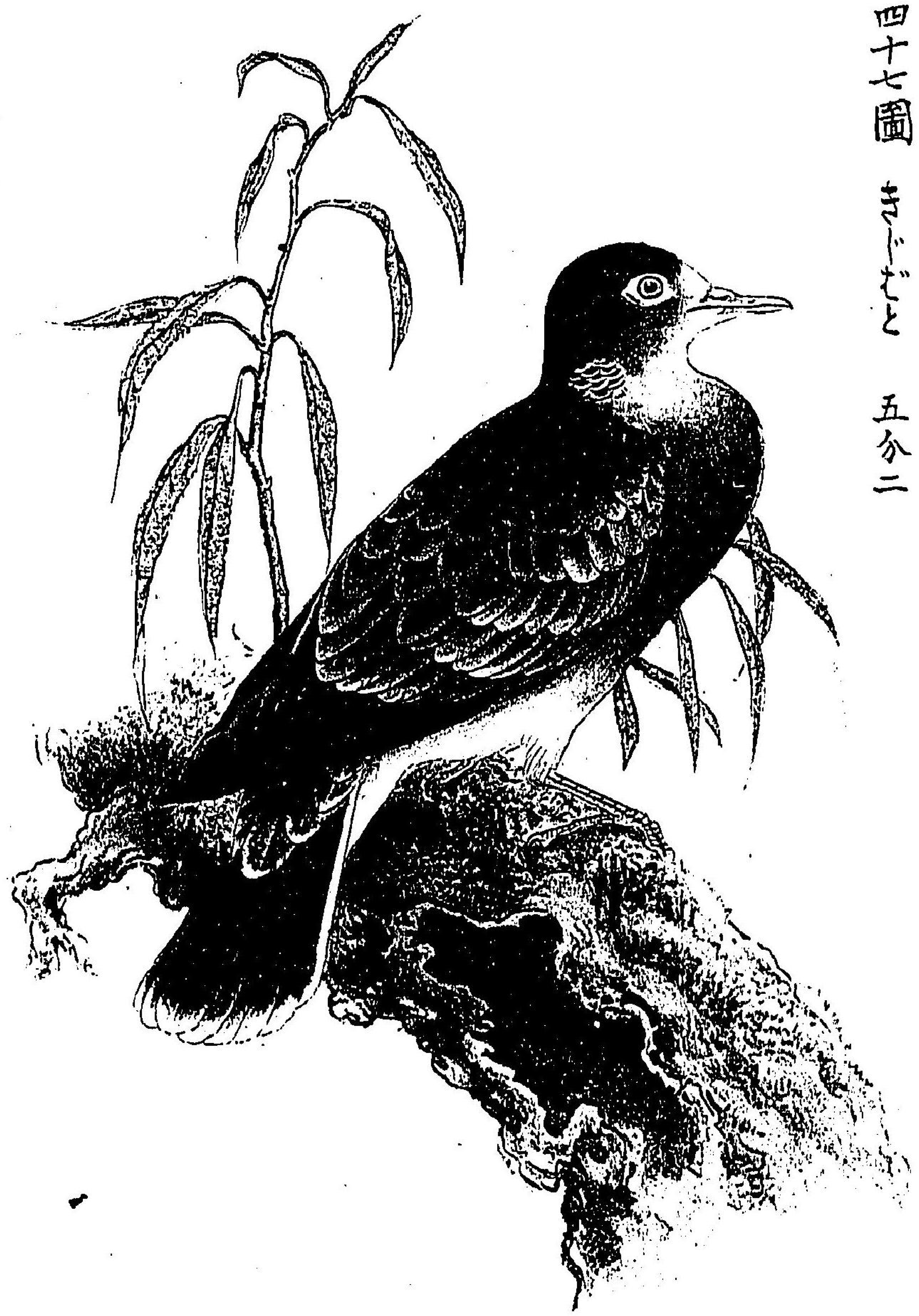
No. 46 Goi-sagi,
Segurogoi, Hoshigoi, Nabekaburi.

學名
Nycticorax nycticorax, L.

英名
Night heron.

佛名
Le butor goisagi.

此種ハ其体ノ大サ凡ソ一尺七寸許アリテ頭部及ビ背部ハ黑色ナルガ故ニせぐろ(背黑)ごゐノ名アリ後頭ニ二三條ノ細長ナル白羽ヲ生ス翼及ビ尾ハ灰白色ニシテ躰ノ下部ハ白色ナリ然レドモ淡灰色ノ部分アリ体ノ上部ヲ通ジテ灰茶色ニシテ翼ニ白斑點アルハ幼鳥トス此ヲほしごゐ又ハよごさぎト云フ此鳥ハ休止スルニ方リ頸ヲ背ニ回ラシテ嘴ヲ上向ス其食餌ハ魚類又ハ蛙等ニシテ河川若クハ沼池ノ畔ニ棲息シ樹上ニ巣ヲ營ム其蕃殖區域ハ歐羅巴洲及ビ



第四十七圖　きじばと　五分二

亞細亞洲ノ南部並ニ本邦等ニシテ北亞米利加ニモ亦產ス

第四十七　きじばと

No. 47 Kiji-bato.

學名
Turtur orientalis, Lath.

英名
Eastern turtle-doven.

佛名
La tourterelle orientalle.

きじばとハ鳩鴿族ニシテ嘴ハ短直其根部ハ軟皮ヲ被フリ端末ハ角質ニシテ上嘴ノ尖頭ハ少シク下向シ鼻孔上ニハ膜質鱗狀ノ瓣ヲ具フ脚ハ短小ニシテ其色赤ク其後趾ハ他趾ト同平線ニ位ス翼ハ長大ニシテ飛翔頗ル迅速ナリ其きじばとト稱スル所以ハ羽色ノ雌雉ニ似タルヲ以テナリ即チ雄雌共ニ頭部、背部ハ灰黒色ニシテ茶褐色ノ斑彪ヲ具ヘ胸部腹部ハ共ニ淡紅褐色ニシテ尾根ハ灰色其末ハ黒色ナリ常ニ樹上ニ雙棲シ好ンデ穀物ヲ食ス其巣ヲ營ムコト極

第四十八圖　もず　五分三

メ常ニ[illegible]然レトモ雌雄交互ニ抱卵シ且其雛ヲ哺育ス[illegible]
ル己レ自ラ其餌ヲ嚥下シ[illegible]中ニ[illegible]熟シ[illegible]然ル後再
ビ吐出シテ之ヲ與ヘ其蕃殖期ハ大抵春末ヨリ秋末ニナル此
鳥ハ亞細亞洲ノ東部ニ産ス其北地ニ産スルモノハ候鳥ニ
シテ多ク群棲ス性人ニ馴レ易シ肉味頗ル甚ダ美ナリト云[illegible]

[illegible]

[illegible]

第四十八　もず

No. 48 Mozu.

學名
Lanius bucephalus, T. S.

英名
Bull-headed shrike.

佛名
La pie-griéche bucéphale.

もずハ燕雀族ニシテ其形はとニ似テ小ナリ嘴ハ硬固短大ニシテ上嘴ノ尖端鉤曲シ其側縁ニ齒狀ノ缺刻アリ又嘴根ニハ剛毛ヲ生ズ尾ハ細長ナリ眼邊ニ黒色ノ斑點ヲ有シ頭部、背部ハ共ニ赤褐色ナリ胸部及ビ腹部ハ淡茶色ニシテ細條ノ横斑ヲ具フ性鷙悍ニシテかさゝぎ、からす其他ノ諸鳥ト鬪爭ス原野ニ棲息シテ秋ニ至レバ各處ノ林藪雜木等ニ遷徙スルモノナリ其食餌ハ蟲類、小禽等ニシテ其大ナルモノハ樹木ノ尖枝ニ貫穿シ置キテ徐々ニ之ヲ食ス其鳴聲悲

第四十九圖　かーとり　五分二

第四十九　かしどり
又かけす

No. 49 Kashidori,
Kakesu.

學名
Garrulus japonicus, T. S.

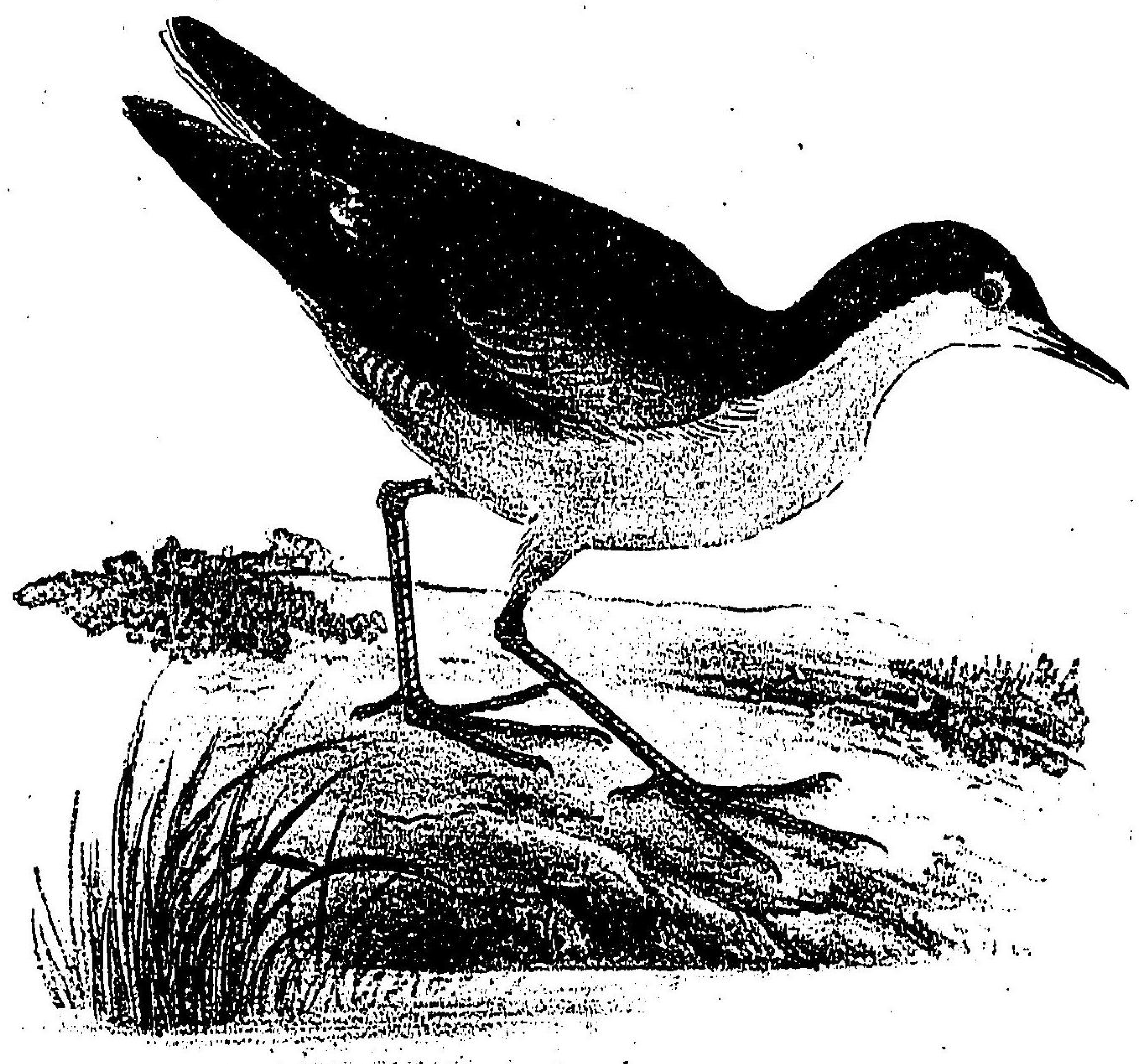
英名
Japanese gay.

佛名
Le geai du Japon.

かしどりハ燕雀族ニシテからすノ近屬ナリ嘴短大ニシテ其根基ニ剛毛ヲ生ジ以テ鼻孔ヲ被フ全身灰褐色ニシテ淡紅ヲ含ミ翼羽ニ濃碧色ナル美麗ノ一部分アリ頂上ニハ黑白ヲ雑フル羽冠ヲ戴ク此鳥ハ深山ニ棲息シ秋ニ至レバ群ヲ爲シテ各地ニ飛來ス其巣ヲ營ムヤ林藪中ニ於テシ又冬ハ樹木ノ洞孔ニ潜居ス其餌料夏ハ蟲類ヲ啄ミ冬ハ樹實又ハ穀物ヲ食ス其蕃殖期ハ凡ソ四五月ノ頃ナリ雛ヲ捕ヘテ之ヲ馴養スルトキハ能ク人間ノ假聲ヲ學ビ又能ク他禽ノ

擬鳴ヲ爲スモノナリ北海道ニ産スルモノハ異種ニシテみやまかけすノ名アリ

第五十圖　みつくひな　二分一



第五十　なつぐひな
又ひぐひな

No. 50 Natsu-kuina,
Hi-kuina.

學名
Crex fusca erythrothorax, T. S.

英名
Siberian ruddy crake.

佛名
Le râle de genêt.

くひなニハ若干種アレドモ今其内ノ一種ヲ擧ゲテ其他ヲ略スなつくひなハ渉禽族ニシテうづらト略ボ同大ナリ嘴ハ端直ニシテ長カラズ其色ハ黒緑ニシテ脚ハ紅色ナリ趾ハ細長ニシテ蹼膜ヲ有セズ尾ハ甚ダ短クシテ翼ニ破ハル頭部ヨリ背部ニ亘リテ橄欖褐色ヲ呈シ顔部及ビ胸部ハ赤色ニシテ頗ル美麗ナリ此鳥ハ飛翔極メテ拙劣ナルモ歩走甚ダ快捷ナリ初夏ヨリ卑濕地ノ叢藪又ハ蘆葦ノ繁茂スル處ニ潜伏シ巣ヲ其中ニ營ム本邦ニテハ夏時ニ見ルノミニ

而シテ冬時ニハ居ラス之ヲ飼養スルニハ蟲飼トスヘシ又其肉ハ食用ニ供スルコトヲ得レドモ美味ト稱スルニ足ラス[illegible]因ニ日ク冬季本邦ニテ多ク見ル所ノくひなハ別種ニシ[illegible]テつるくひな又ハ冬くひなト云フ此ハ銃獵家ノ能ク知ル所ノくひなニシテ其肉味ハ佳美ナリ

有益鳥類圖譜　畢

明治二十六年二月二十五日印刷
同　　年三　月十一日出版

定價金壹圓七拾五錢

版權所有

著述者ノ檢印ナキモノハ僞版トス

著述者　東京市牛込區早稻田鶴巻町壹番地　成島謙吉
同　同　小石川區水道町三十九番地　籾山鈞
發行者　同　日本橋區吳服町三十二番地　小倉文吉
印刷者　同　日本橋區箔屋町六番地　吾妻健三郎

發兌元
同　日本橋區吳服町三十二番地　牧畜雜誌社
同　日本橋區箔屋町六番地　東陽堂

大賣捌
同　神田區通新石町三番地　東陽堂支店

賣捌所
東京市日本橋區通三丁目　丸善商社書店
同　京橋區南傳馬町二丁目　有隣堂

牧畜雜誌

明治廿一年創立

牧牛　牧馬　牧羊　養豚　獸醫　養禽　飼兎　飼犬　製乳

●牧畜雜誌は我國牧畜及び養禽事業の發達を圖るを以て目的とし牧牛、牧馬、牧羊、養豚、獸醫、養禽、飼兎、飼犬、製乳等に關する學士實驗家の論說及內外の新說等を掲載するものなり

●牧畜雜誌は毎月十日、廿五日兩回發行今廿六年三月十一日其第百號を發兌致候

●牧畜雜誌御購讀被下候には代價並に郵税共必らす前金御送附被下度御送金無之內は御注文あるも雜誌郵送不仕候

但日本橋通爲替取扱所渡りに御取組御送金被下度候

牧畜雜誌定價

一冊現金七錢	郵税金五厘
六冊前金四十錢	郵税金三錢
十二冊前金七十五錢	郵税金六錢
廿四冊前金壹圓四十錢	郵税金十二錢

牧畜雜誌既刊の分割引直段

五冊以上一纏め	一冊に付金六錢七厘
十冊以上	一冊に付金六錢
三十冊以上	一冊に付金五錢五厘

外に雜誌一冊に付郵税金五厘宛可申受候

●本社へ御問合せの向は返信用切手御封入又は往復端書を以て御照會可成下候

東京市日本橋區呉服町卅二番地

發所所　牧畜雜誌社

專賣特許

元折形無鷄頭宮田銃

目下大流行の獵銃は無鷄頭にして使用法の最も便利なるは元折形なり然れども從來の元折形は銃床と銃身とを原位に復するの際或は他の場合に於て擊鐵を落して擊針を打つの危險あるを免かれず爰に於てか歐米各國の新式の獵銃を參考として玆に此宮田銃を發明し新たに農商務省の特許を得て之を世に發賣す三方の諸彥乞ふ之を試みよ

第一　舶來の無鷄頭銃は代價極めて高直なれども之に反して此宮田銃は其價極めて低廉なり

第二　機關複雜なれば破損多く之を修繕するも亦た容易ならず此宮田銃の構造は到て簡易なるのみならず頗る堅牢なるを以て絕て破壞の憂なく歪の生ずる等のことなし

第三　加之此宮田銃は代價の低廉なるにも拘らず專ら構造の堅牢を主として製作せしにも拘らず外觀の美に到ては殆んど無比無類なり

第四　殊に特筆すべき此宮田銃の長所は從來の銃獵が殆んど免かれざりし凡そ有る程の危險を防ぎたるにありとす

猶ほ此四ヶ條以外に記すべきもの多しと雖も殊に喋々するを要せず特許を受けしより僅かに數閱月にして忽ち江湖の好評を博し其賣高の如き已に無慮數百挺に及ぶ其良否は之を以て知るべきなり

護身用ステッキ銃並ニ蝙蝠傘銃製造仕候間陸續御注文御購求ノ程奉希候

獵銃製造人

東京市本所區菊川町二丁目五拾二番地　宮田榮助

販賣所

東京市京橋區銀座二丁目九番地　大倉組銃砲店

東京市神田區柳原川岸二十九番地　磯部商店

屠獸檢查法 附乳汁檢查法

墺國レンベルク獸醫學校教師　ドクトル、アンーシ、パヲンスキー氏著

ドクトル獸醫學士與倉東隆　日本獸醫學士勝島仙之助　同譯

紙數二百七十頁　洋裝金字入　正價金五十八錢　郵稅金六錢

本書は農商務省農務局より特に其原稿を下附されたるものなり今般特別廉價に發賣して廣く公益を圖らんとす乞ふ警察官、獸醫、衛生家、牧畜家諸君一本を坐右にせられんことを

●本書目次の大要

第一編　總論◎第一章　獸體及獸肉檢查の沿革●獸體及獸肉檢查の要旨●食用動物●肉の組成●肉の調理●肉の價値●牝牛、羊の年齡定法●獸體の部位によれる肉の區別◎第二章　屠殺◎第三章　屠場

第二編　各論◎第一章　墺西及日耳曼の獸體及獸肉檢查●獸體及獸肉檢查官●獸體及獸肉檢查の制限●獸體及獸肉檢查官の職掌及義務◎第二章　獸體檢查○（一）檢查の方法（二）健康の徵候（三）疾患の徵候（四）屠後の狀態◎第三章　健獸肉の品質○發術肉の肉の假偽◎第四章　食用に適すべき肉○（一）販賣し得べき肉（二）販賣すべからざる肉●切迫屠殺◎第五章　販賣を禁ずべく且食ふべからざる肉◎第六章　肉の食用を禁すべき疾病◎第七章　屠殺地、肉舖、肉行商の檢查●運搬すべき獸體及獸肉の檢查●貯藏肉の檢查●野獸市場の檢查●鳥市場の檢查●魚市場の檢查

附錄　●乳汁檢查法

發行所　東京市日本橋區吳服町卅二番地　牧畜雜誌社

子爵品川彌二郎公題辭
農學士原田清太郎氏校
井上謙造氏校　河相大三氏述

乳牛及製乳新書

精好圖五十餘入
正價金四拾六錢
郵稅金六錢

本書は乳牛の種類及飼養方等より各種の製乳法に至るまで學理實驗並び擧けて洩す所なし牧畜家製乳家は勿論學校參考用として必ず一本を備へさるへからさるの良書なり

●本書目次の大要

第一篇　乳牛◎乳牛の種類◎乳牛の撰擇◎乳牛の飼養◎乳牛の飼料◎飼養者の實驗說◎飼料と乳汁との關係◎交尾及分娩◎仔牛の飼養◎搾乳の方法◎乳汁の總說◎乳汁の檢査
第二篇　製乳◎簡易煉乳製造法◎米國煉乳製造法法◎粉乳製造法◎乳油製造法◎乳餅製造法

發兌　東京市日本橋區吳服町卅貳番地　牧畜雜誌社

賣捌　同日本橋區通三丁目　丸善商社書店
同京橋區南傳馬町二丁目　有隣堂

繪畫雜誌の中興鼻祖

繪畫叢誌

每月一回廿五日發行●二月廿五日第七十一卷旣刊●一部定價金十五錢●六部前金八十錢●十二部一圓四十錢府外郵稅二錢●會員には一部十錢也

右は專ら美術工藝上の參考に供せんが爲め古今內外の繪畫を網羅蒐集して其大成を期す故に幽を顯はし微を闡き廣く畫家の逸事逸聞を探討し亦人口に膾炙し諸書に散見するものに至るまで確實有益なる記事は悉く登錄し加之新古書圖を每卷八圖乃至十圖を挿入し以て明窗淨几の間に隨伴し閑日靜夜之を披讀して眼を悅ばし心を樂しましめ高尙優美の志を養ふの具たり故に世の君子淑女は勿論畫家彫刻家織家たる者亘不一日も欠くべからざるの良書なり又何人と雖とも紹介人を要せすして入會を許す規則書を望みの方は郵券二錢を送らば直に呈贈すへし

發行所　東京日本橋區新右衞門町六番地　東洋繪畫會事務所

石川鴻齋評並序、渡邊黃眉編、插畫富岡永洗筆

●渡邊華山 忠孝血淚譚　全一冊　美本　正價金五十五錢　郵稅金四錢

嗚呼華山先生は忠孝大節學術技藝を兼ね而して天下の爲に愛ふ洵に絕代の君子也世先生を知るは概ね其畫技の故のみ其本色に非る也故に編者之を慨し先生の事を詳悉せる鴻齋翁に謀り行狀巨細漏さす行文流暢に之を綴り兒女も猶讀易き事實精確の小說体詳傳なり之を閱せは士は憂國忠君の節義に感じ子は孝養の務を知り朋友は交道の誼を了し婦に貞夫も靡に情夫も志を立ん

風俗畫報

毎月一回十日發行●三月十日第五十一號發兌●一部定價金拾錢
六部前金五拾七錢●十二部金一圓八錢府外郵送税一部一錢の割

●風俗畫報主意書　風俗畫報は專ら繪畫を應用して都鄙村落に論なく衣服器財の現象冠婚葬祭の模式神社の祭典佛寺の行法古來風俗の今に存するもの舊典古禮の猶行はるゝもの殿堂社宇建築の規摸舟車橋梁製作の模形有名男女の肖像歌舞音樂の姿態會集遊宴平居操作の状況等凡人事百般貴賤公私の別なく喜怒哀樂の状に至る迄眼前に見る所の風俗を網羅集載し以て後世に傳へ歴史工藝其他諸科の考證及研究の用に供せんとす是を再言すれば即畫を以て一の私史を編纂するの料を作るに異らざるなり凡繪畫の用は觀美快樂の資に充つるに止らず文の悉くすこと能はざるもの圖畫を待ちて之を後世に傳ふべき者にして畫は文の形文は畫の聲なり二者相待て以て今尙昔を見ることを得るに至る而して後の今を見るも亦今の昔を見るに異らざる也試みに維新以降今日に至るまでの間を回想すれば歐米新事物の輸入と共に舊態大卒消滅して僅に二十余年の間其痕跡を止むもの幾許ぞや唯一の浮世繪ありて僅に其一斑を窺ふに足るのみ是時世の劇變に遇ふに因ると雖も又形を以て傳ふるもの無きが爲めなり乃ち畫報一たび世に出でゝ其形を印象し其聲を文章にするときは千百年の後歴々既往現今の狀勢を知り時世變遷の迹を原ぬることを得政事學藝に裨益すること應に鮮少にあらざるべし敢て請ふ同感の君子貴女此舉を賛成し併せて紙上に掲載すべき確實の材料を寄贈せられんことを

我が風俗畫報は以上の趣旨に則り第一號を發行せし以來着々歩を進めて今や五十一號の高數に登り編輯者は事務に練達し雜誌の躰裁は整頓し記事は一々金玉の文を連ね畫圖は逐次考証の正確なるを欲せり而して雜誌に載する所の記事は總て古今風俗に關する論說及び人事、服飾、飲食、器械、土木、耐植、遊藝、漫錄、雜錄、詞林の數門に分ち森羅萬象は悉く網羅して斯中にあり加るに尾濃の大震災及び陸軍特別大演習の如き國家人民に對して頗る有益必要の問題ある毎には特に一冊又は二冊の全部を擧げ用ゐて以て完全なる史料を編纂し來れり其例は乃ち本誌第三十五六兩號の震災紀聞を見てもその有益にして須臾も坐右を缺くべからざるを知り給ふべし又別冊特別大演習記事は累々取調べも濟みたれば不日發行して世の公評を乞はん

每月十日發行

風俗畫報

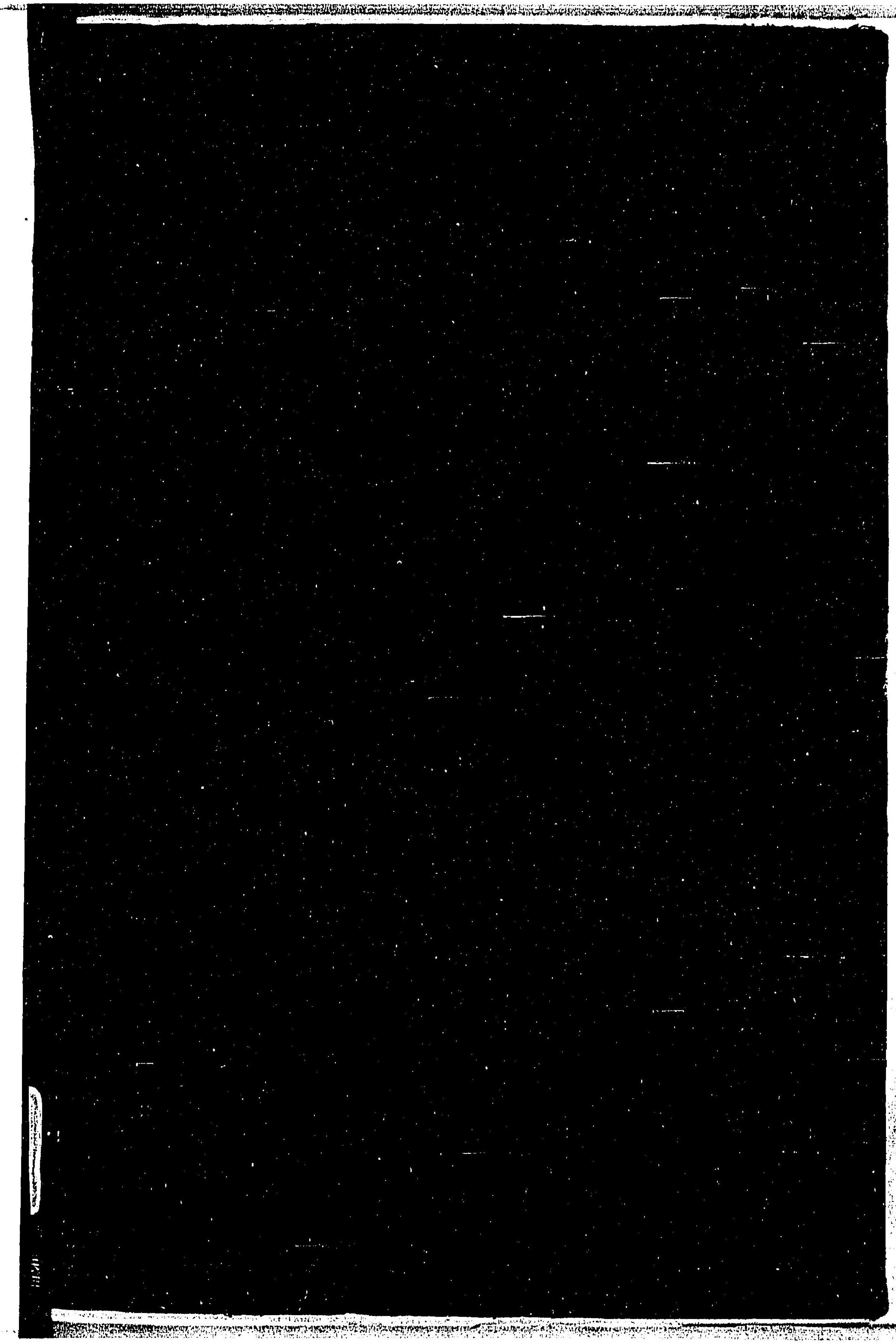
發行所　東陽堂

發行所

東京日本橋區馬喰町六番地
(電話四百八十七番)
東陽堂

神田區新石町三番地
(電話九百七十番)
東陽堂支店

34
238



057663-000-8

34-238

有益鳥類図譜

成島 謙吉
籾山 鈎／著

M26

CAR-0267

6.9.17